

# 平成31年度埼玉県保育関係事業の実施並びに 関係予算編成に対する要望について

埼玉県における保育事業の推進につきましては、日頃より格段の御指導と御支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、少子・高齢化社会の進行や社会構造の変化は著しく、保育に対するニーズも多様化し、保育士不足が深刻になっています。

特に保育所は乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場所であることから、子どもの健康を増進し、且つ、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることが必要となります。

その為には、行政をはじめ私たち保育関係者が子どもの立場に立って、健全な心身の発達が図れるよう、努めなければなりません。

埼玉県保育協議会、日本保育協会埼玉県支部、埼玉県私立保育園連盟の3団体は、平成31年度の予算編成にあたり別紙要望事項のとおり要望いたします。

つきましては、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。更に、国の予算の不十分な点については、県単独予算を確保いただきますようお願い申し上げます。

平成30年8月22日

埼玉県知事 上田 清司 様

日本保育協会埼玉県支部  
支部長 水野 良司

埼玉県私立保育園連盟  
会長 村山 徹朗

埼玉県保育協議会  
会長 喜多濃 定人